

※□内は、ロットNo.表示位置を示します。

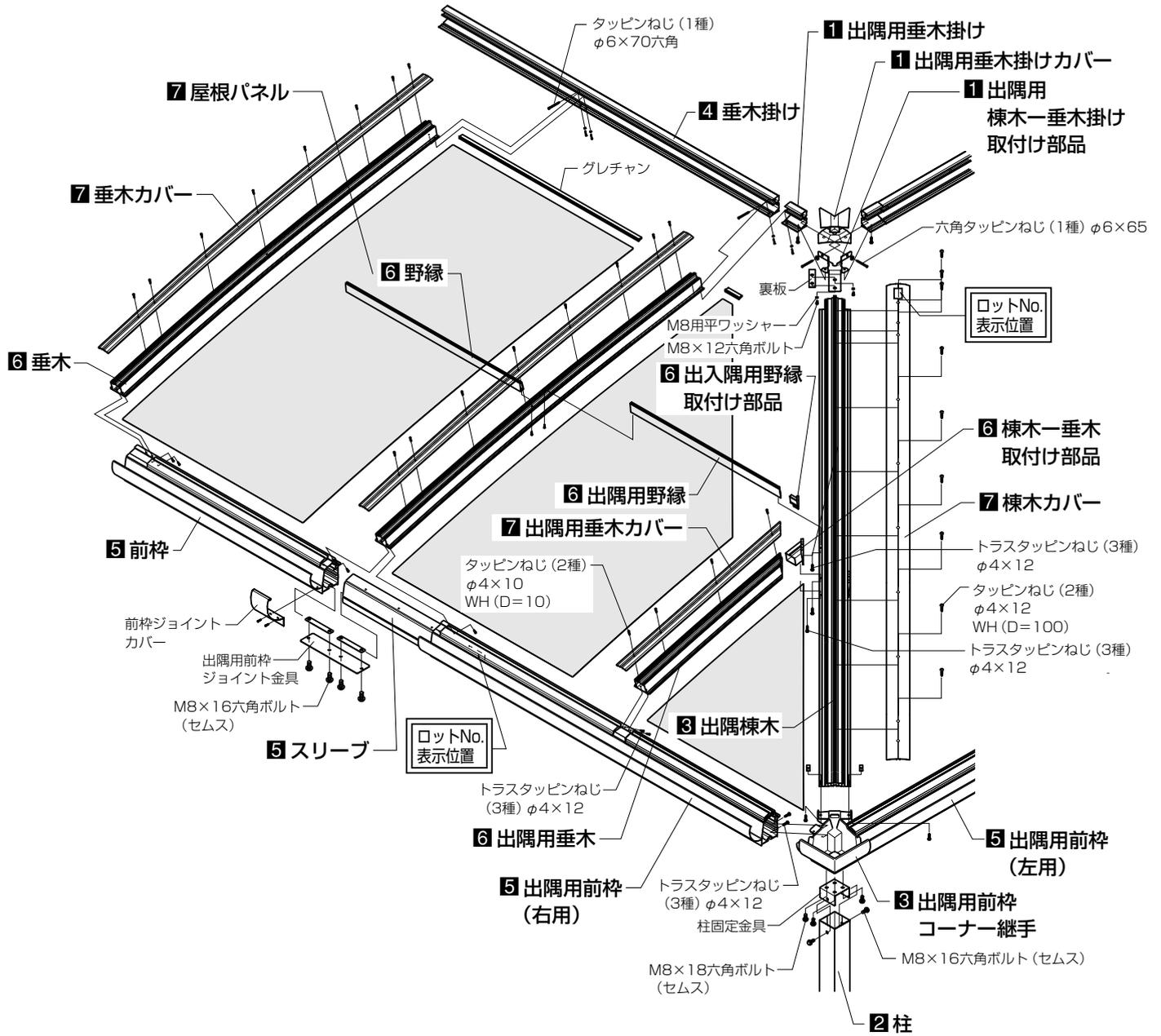
■施工される方へのお願い

- 出隅部以外の組立て・取付け及び施工上のお願い・製品の取扱いについては、アルファテラス本体に同梱してある取付け説明書をご覧ください。
- 同梱されている取扱い説明書は、必ずお施主様へお渡しください。
- 本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

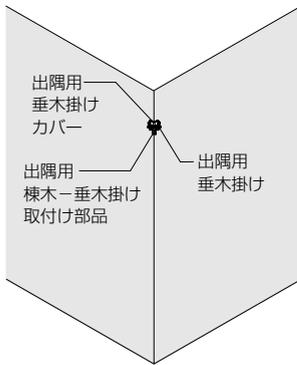
▲注意

- 製品落下及び転落のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・施工は専門業者が行ってください。
 - ・タッピングねじ、コーチボルトの下穴には指定より太いドリルを使用しないでください。
 - ・タッピングねじ、コーチボルトは柱、間柱、胴差しなどの構造材に必ず止めてください。
- 【部材の固定】
 - ・必ず指定の組立てねじ・ボルトで固定してください。
- 【施工上について】
 - 製品が600タイプの場合、前枠に張られている「1500タイプ」のブランドラベルをはがし、棟木に同梱されている「600タイプ」のブランドラベルに張り替えてください。ただし、前枠に「600タイプ」のブランドラベルが張られている場合には、張り替えは不要です。
 - 水漏れのおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - 【シーリング処理】
 - ・指定の個所(特に接続部)にコーキング材を充てんしてください。
 - ・外壁の上から部材を取付ける場合は、コーキング材を下穴に充てんしてからねじ止めしてください。

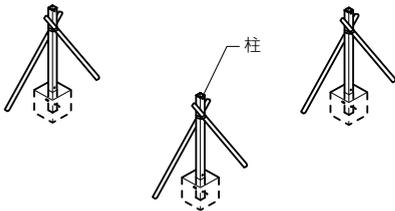


■取付け順序

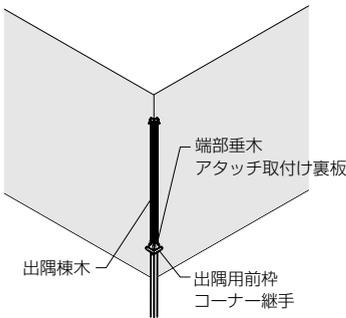
1 出隅用垂木掛けの取付け



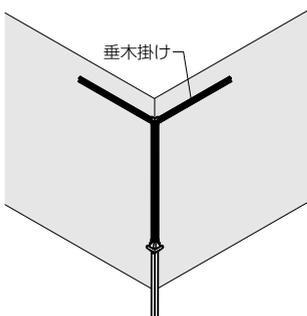
2 柱の位置決め



3 棟木の取付け



4 垂木掛けの取付け



■取付け詳細

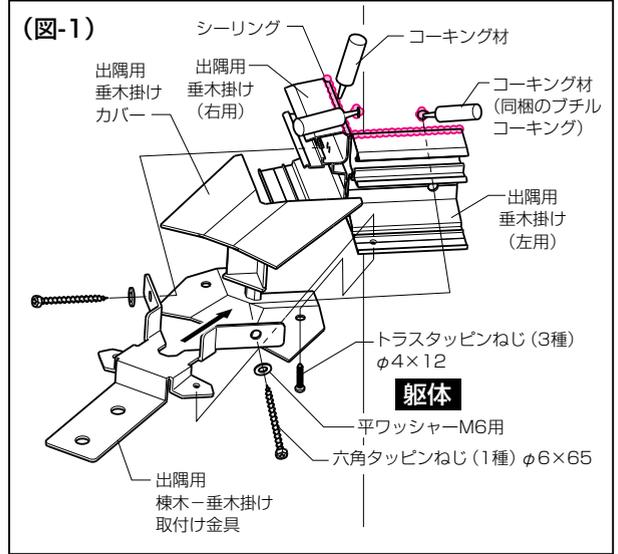
1 出隅用垂木掛けの取付け

- ①出隅用垂木掛け、出隅用棟木-垂木掛け取付け金具、出隅用垂木掛けカバーを組立てます。(図-1参照)
- ②位置を合わせ出隅用垂木掛けを躯体に取付けます。
- ③躯体と垂木掛けのすき間にシーリングをしてください。

▲注意

- 垂木掛けは必ず躯体の柱・間柱などの構造材に取付けてください。
- 躯体が経年変化などで損傷が著しい場合は、施主様と打合わせをし、必要に応じて補強してから取付けてください。
- 指定の個所に必ずシーリングしてください。

(図-1)

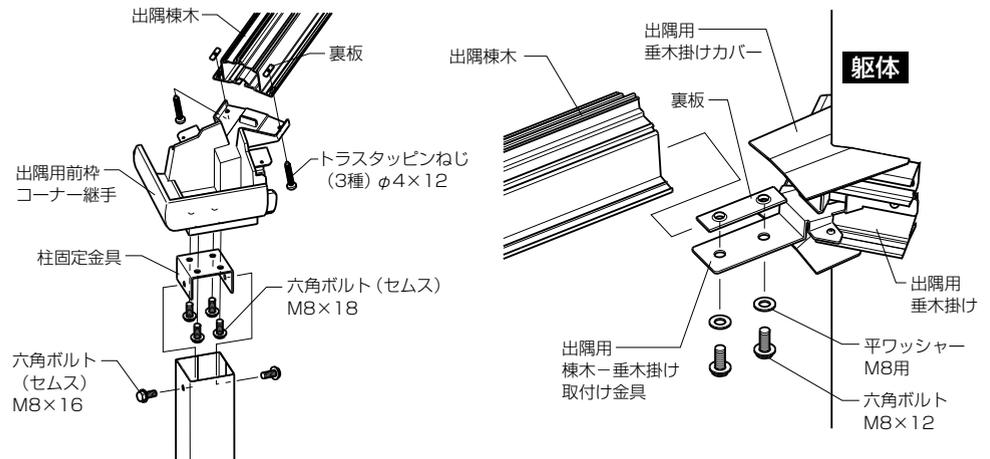


2 柱の位置決め

- 姿図より、柱の位置出しをし基礎穴を掘ります。
- ※基礎穴への柱の納まりは本体を参照してください。

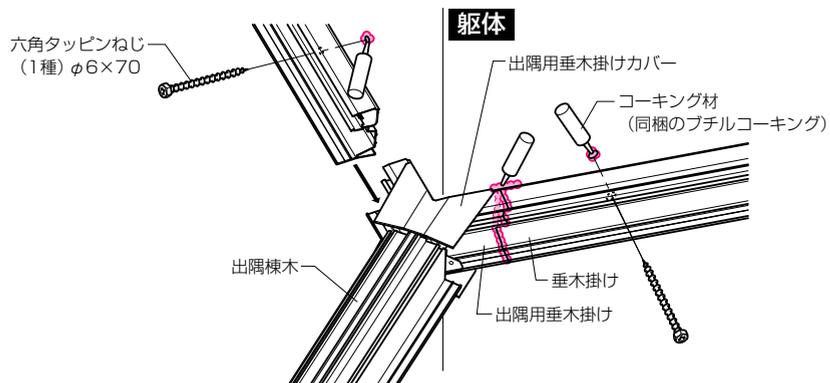
3 棟木の取付け

- ①出隅用前枠コーナー継手に柱固定金具を取付け、出隅部の柱上部に固定します。
 - ②棟木のホールに裏板を挿入し、出隅用棟木-垂木掛け取付け金具と棟木を固定します。
 - ③前枠コーナー継手に出隅棟木を取付けます。
- ※出隅棟木には、前後があります。棟木のフィン部に加工穴がある方を前枠側に使用してください。

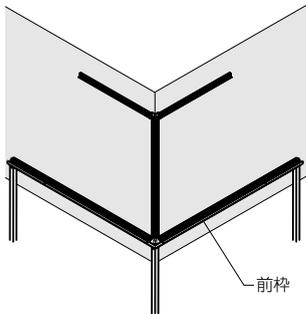


4 垂木掛けの取付け

- 出隅用垂木掛けに合わせて垂木掛けを取付けます。



5 前枠の取付け

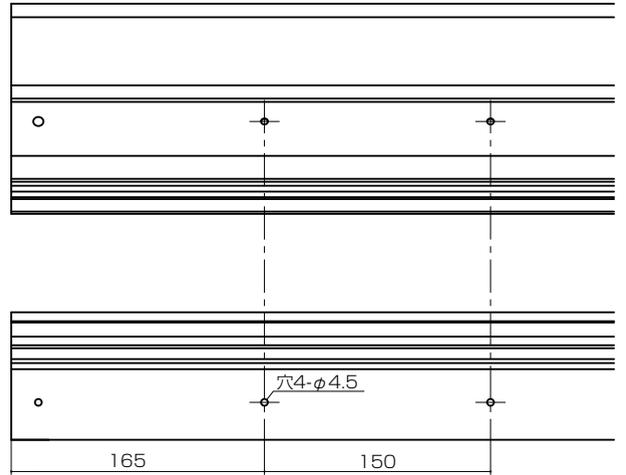
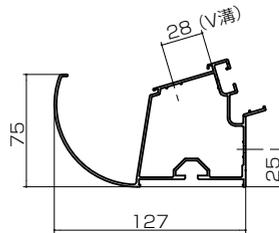


5 前枠の取付け

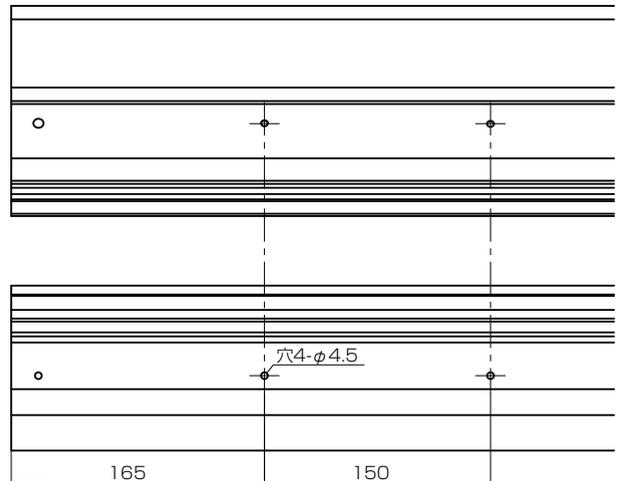
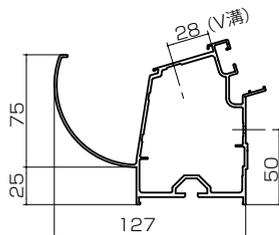
- ①出隅用前枠にスリーブをけがき線まで差込み、ポンチ跡に合わせて穴φ3.5をあけます。スリーブをねじ止めしてください。
- ②前枠を加工してスリーブに差込み、加工穴に合わせてスリーブに写し穴φ3.5をあけてねじ止めします。

■前枠加工図(内観右用。左用は本図と対称)

●前枠A



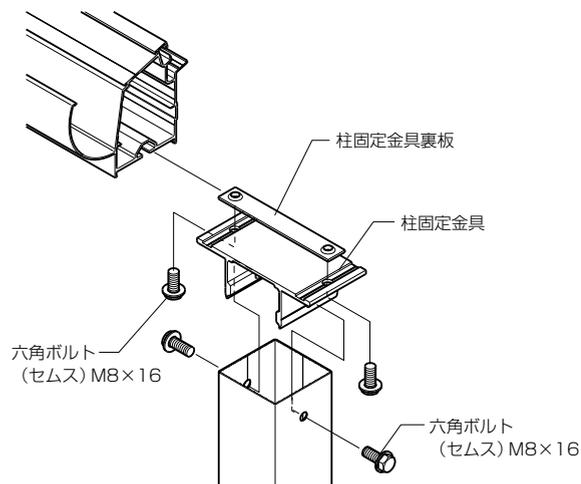
●前枠C



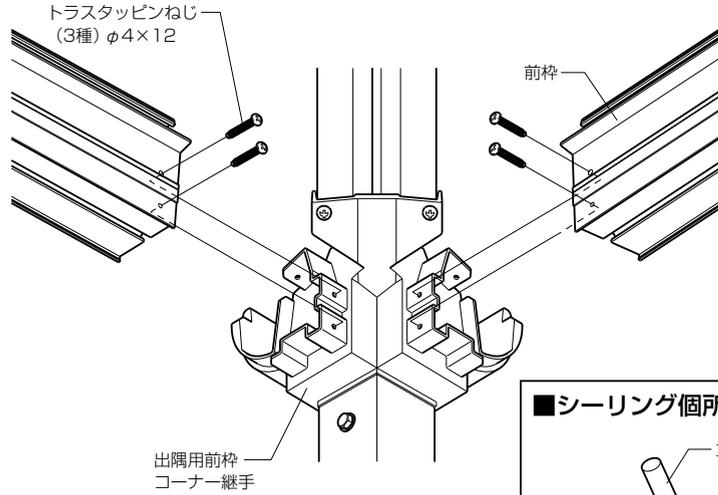
▲ 注意

- 製品が600タイプの場合、前枠に張られている「1500タイプ」のブランドラベルをはがし、棟木に同梱されている「600タイプ」のブランドラベルに張り替えてください。ただし、前枠に「600タイプ」のブランドラベルが張られている場合には、張り替えは不要です。

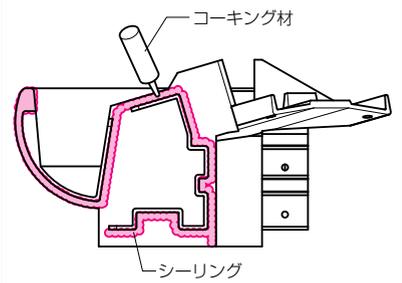
- ③出隅両端の柱の上部に柱固定部品を取付けます。



- ④出隅用前枠コーナー継手にシーリングし、前枠を固定します。
柱に前枠を固定します。
- ⑤前枠連結部に連結カバーを取付けてください。
指示個所に厚み4mm位でシーリングをしてください。



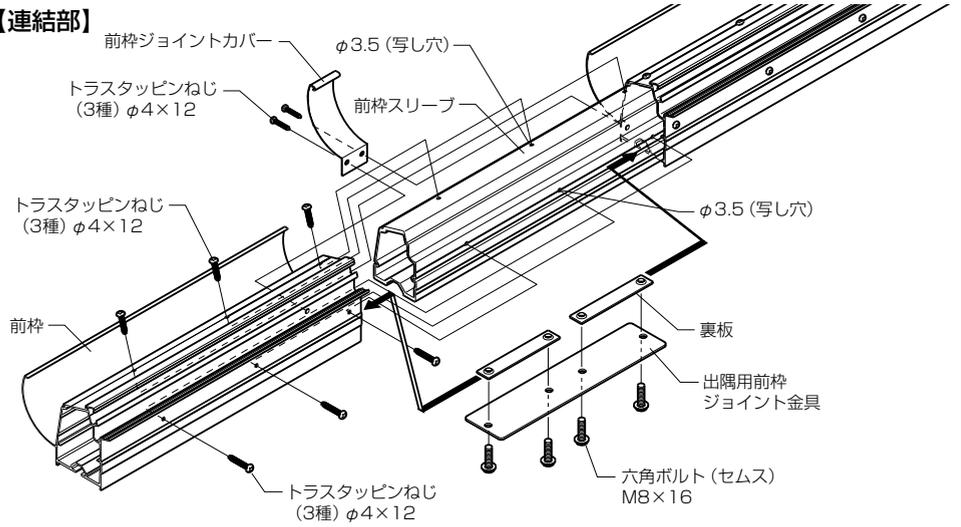
■シーリング箇所



▲注意

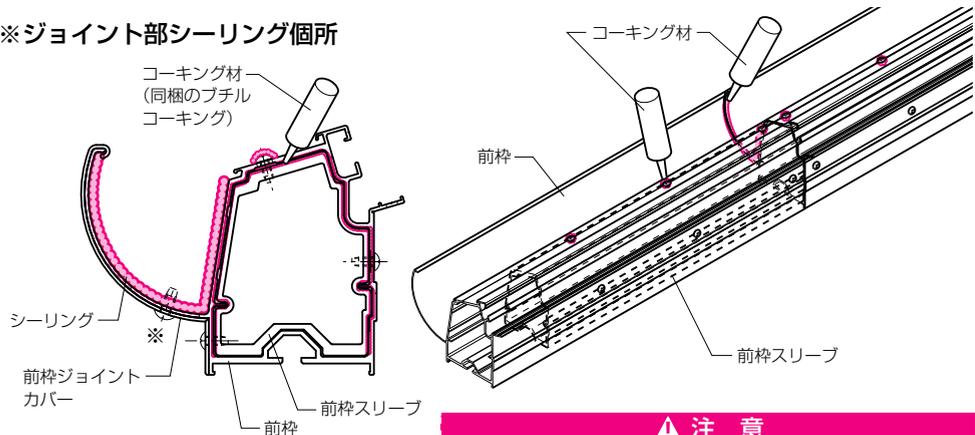
●指定の個所に必ずシーリングしてください。

【連結部】



※前枠スリーブをねじ12本で固定してください。

※ジョイント部シーリング箇所

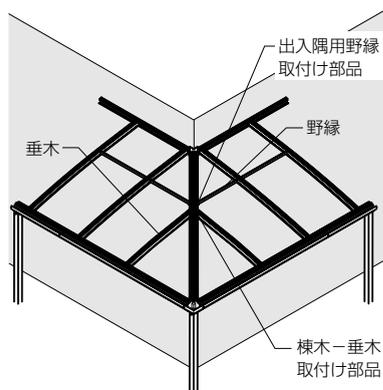


▲注意

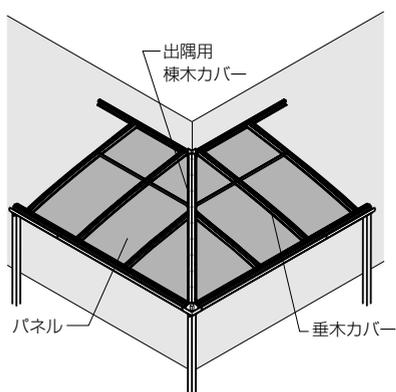
●指定の個所に必ずシーリングしてください。

※この場所にねじ止めする場合は
ねじまわりにシーリングのこと (2箇所)

6 垂木・野縁の取付け



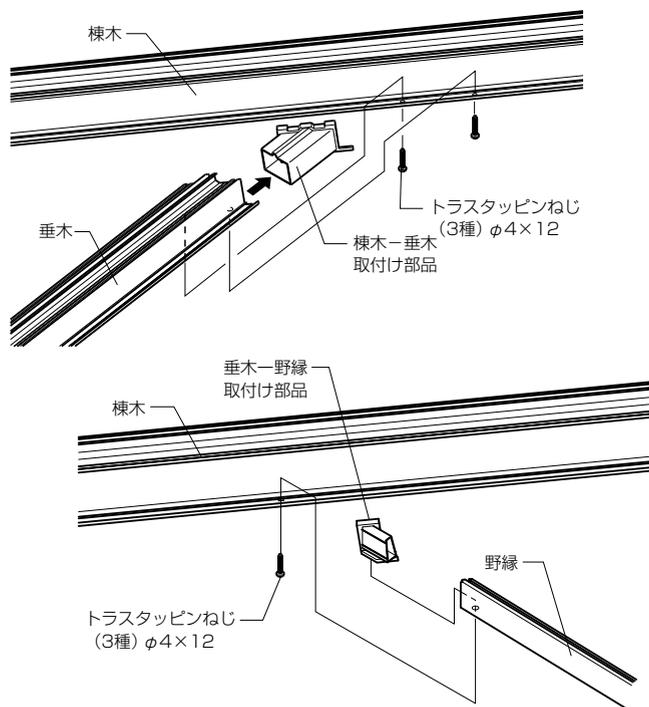
7 屋根パネル・棟木、垂木カバーの取付け



8 雨どいの取付け

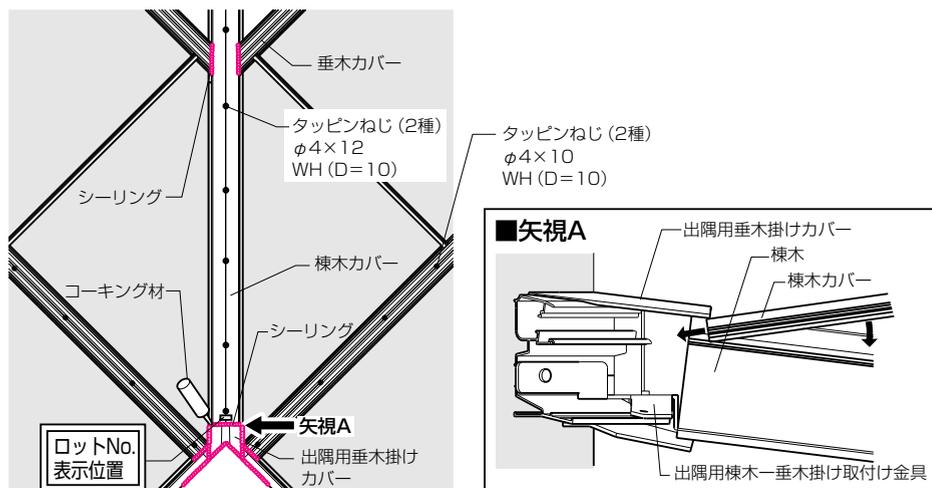
6 垂木・野縁の取付け

- 出隅用垂木(野縁)の斜めに加工されている端部に、垂木-棟木(野縁)取付け部品を差込み棟木に固定します。
- 垂木・野縁をそれぞれ取付けます。



7 屋根パネル・棟木、垂木カバーの取付け

- グレチャン(ℓ=30mm)を屋根パネルに取付け、垂木掛けに取付けます。(三角形のパネルにはグレチャンを付けません。)
 - ロットNo.を表示してある棟木カバーの先端を出隅用垂木掛けカバーの下にもぐり込ませて、ねじ止めしてください。
 - 垂木カバーを取付けます。
- ※棟木カバーを止めるねじはタッピンねじ(2種)φ4×12WH(D=10)を、垂木カバーを止めるねじはタッピンねじ(2種)φ4×10WH(D=10)を使ってください。
 ※棟木カバーの前枠側端部の穴は、ねじ止めの必要はありません。



▲ 注意

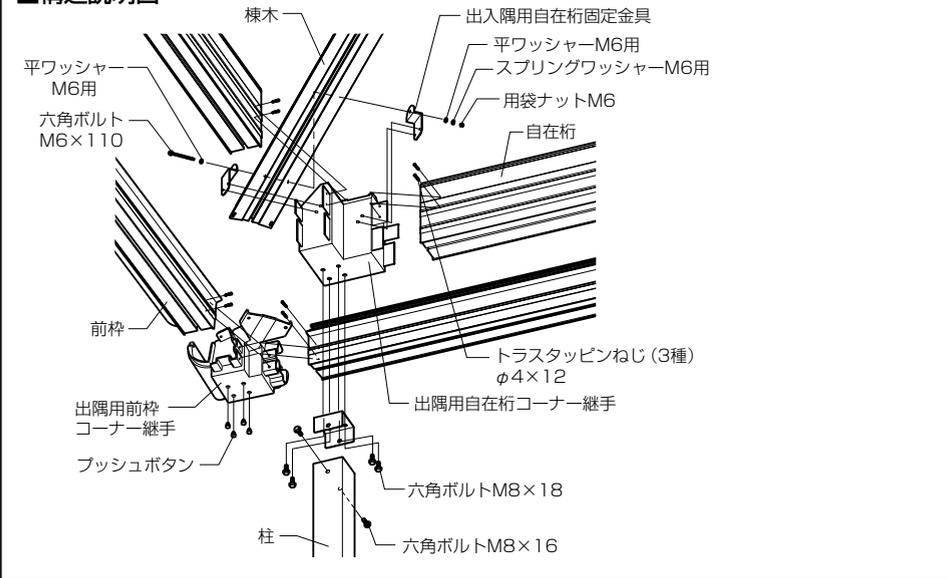
- 指定の個所に必ずシーリングしてください。
- シリコンシーリングを行う場合、アクリル板及びポリカーボネート板のひび割れなどが考えられますので、当社指定のアルコール系コーキング材を使用してください。
 - ・信越化学工業 シーラント72
 - ・東芝シリコン トスシール380
 - ・トーレシリコン SE960

8 雨どいの取付け

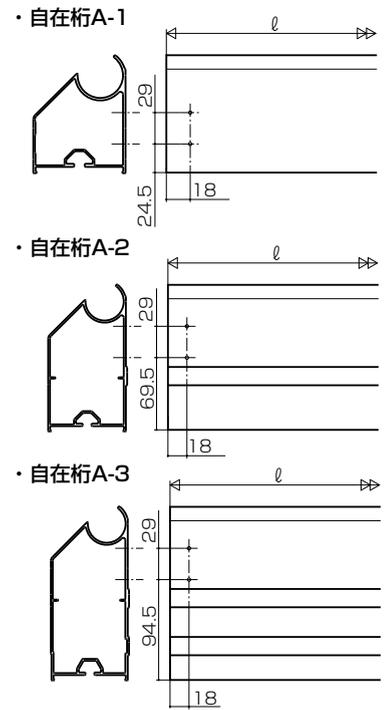
- アルファテラス標準タイプの取付け説明書に従って雨どいを取付けてください。
- ※出隅コーナー部は左右どちらかに雨どいを取付けてください。

■自在桁仕様の場合

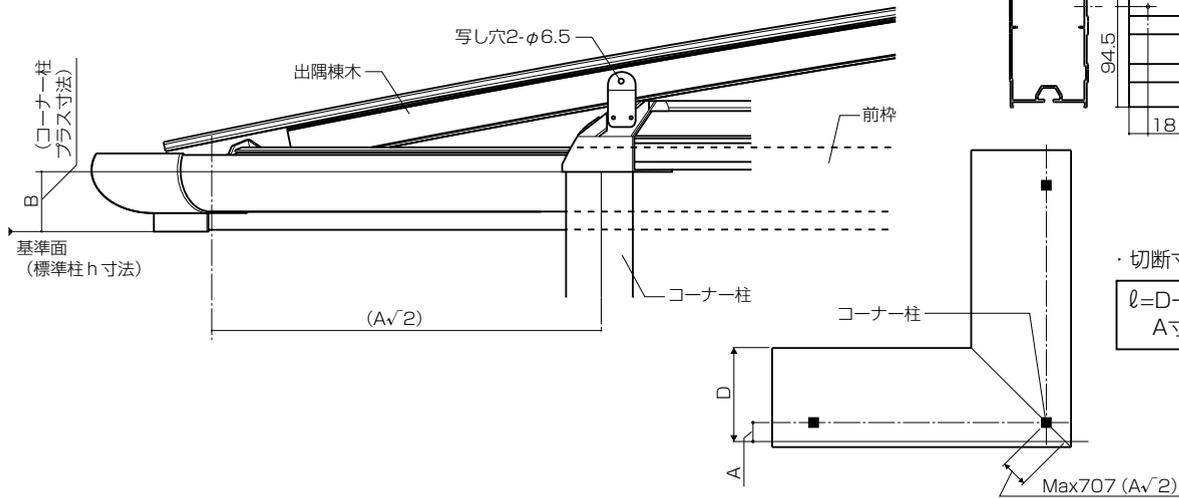
■構造説明図



●自在桁加工図 穴加工

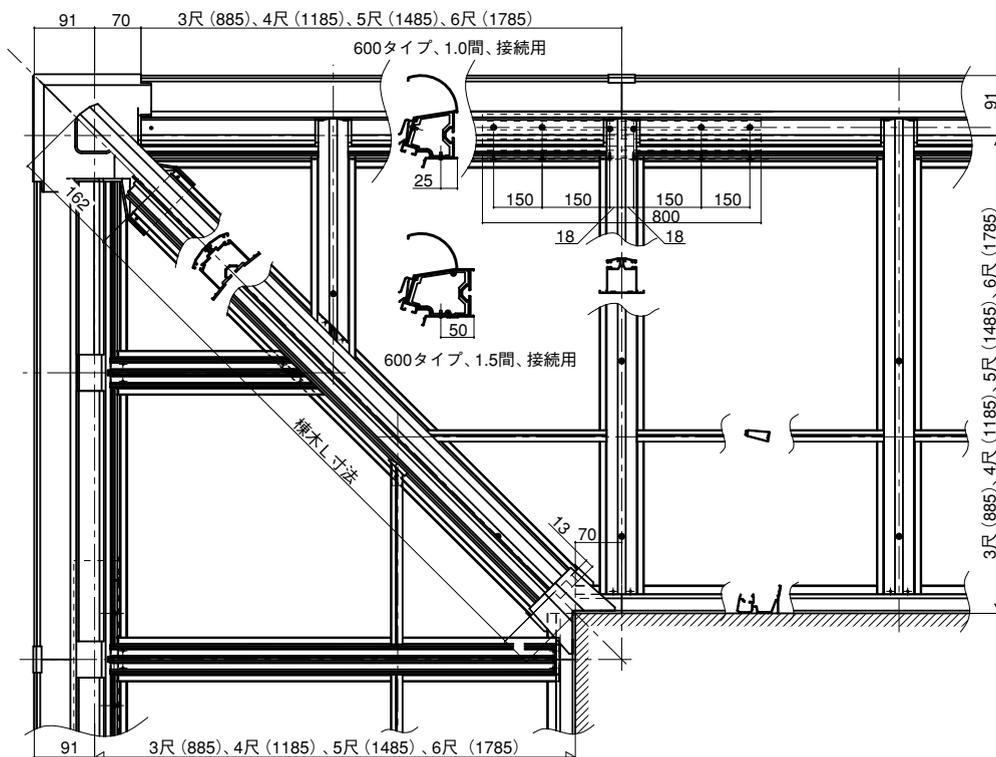


・切断寸法
 $l = D - A - 34$
 A寸法: 150~500mm



■納まり図

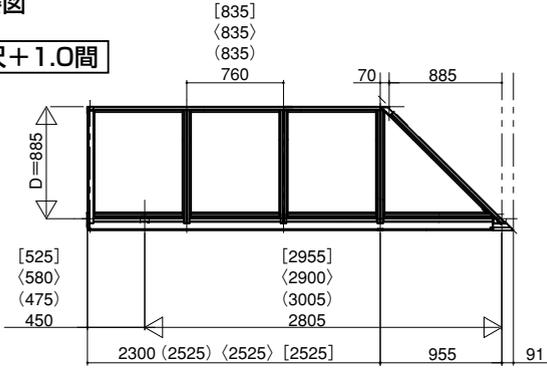
●基本図



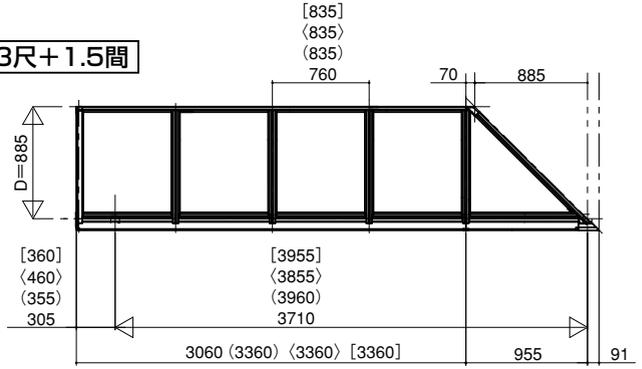
■納まり図

●姿図

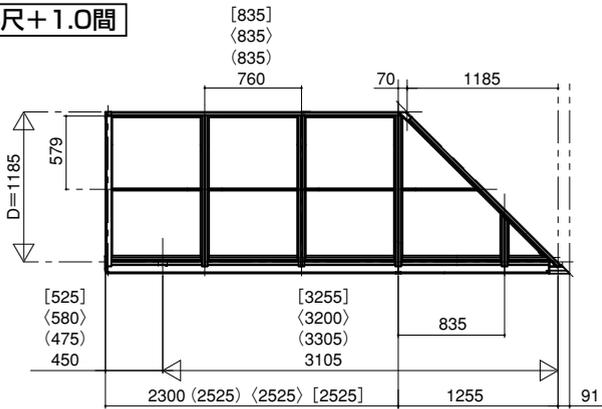
3尺+1.0間



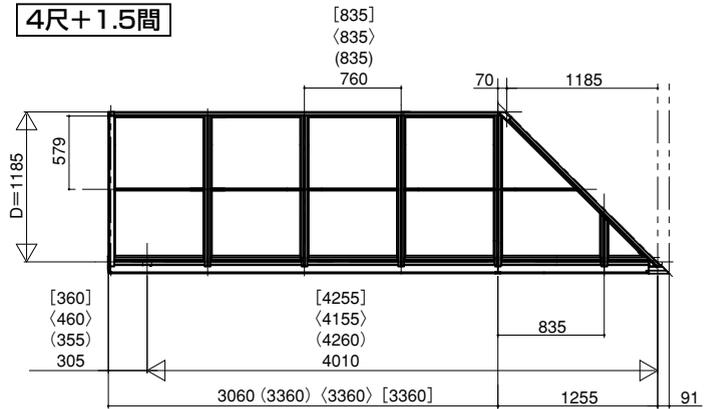
3尺+1.5間



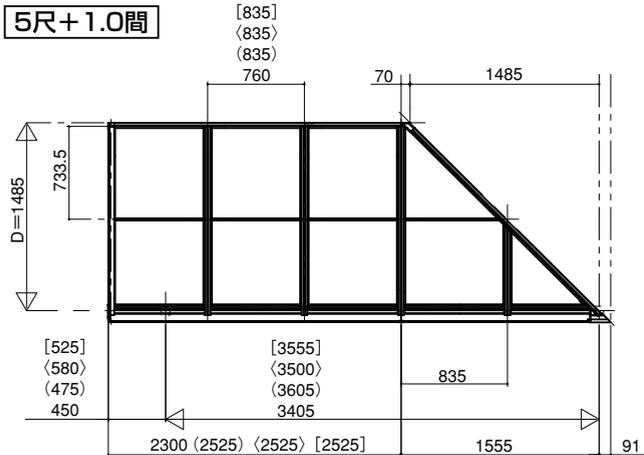
4尺+1.0間



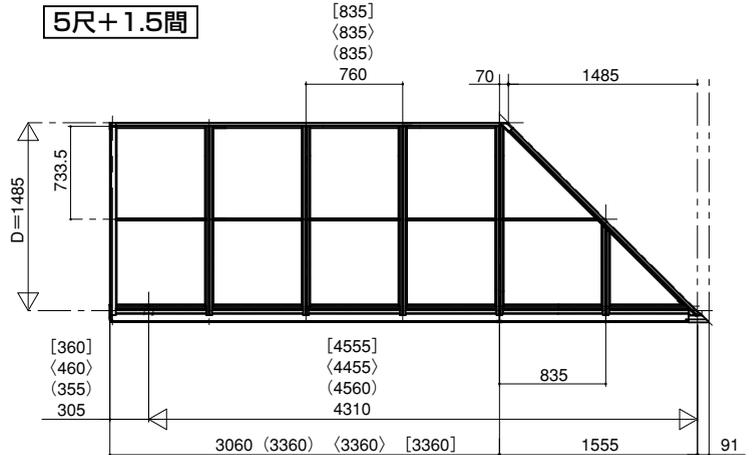
4尺+1.5間



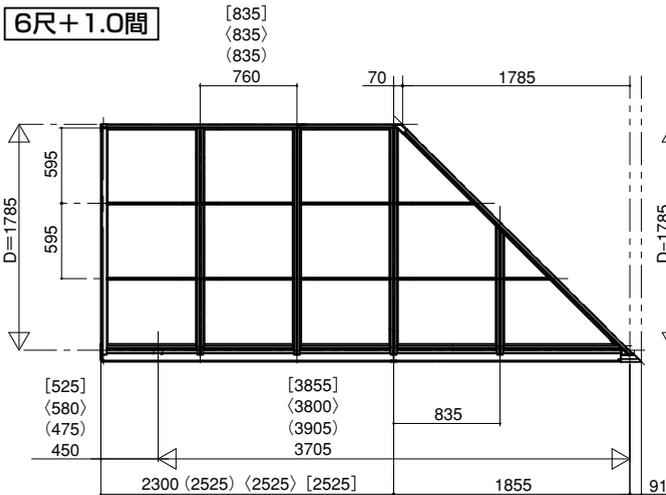
5尺+1.0間



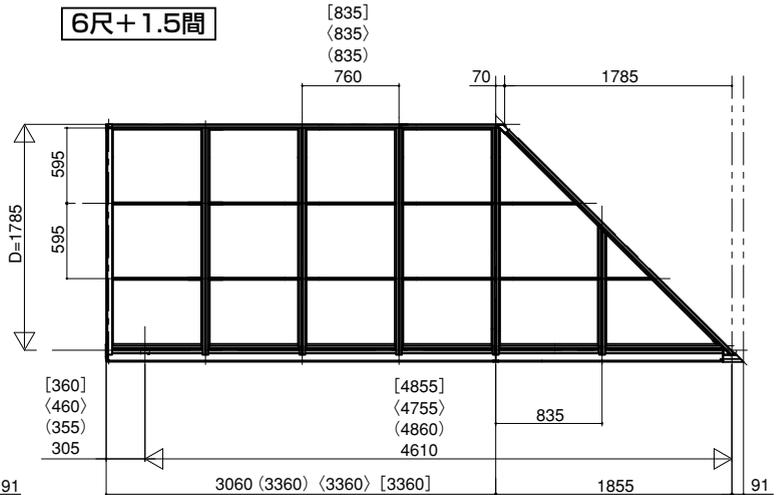
5尺+1.5間



6尺+1.0間



6尺+1.5間



() 内は関西間

< > 内は九州・四国間

[] 内はメーターモジュール

600タイプ